

INNOVATOR WANTED

第6回日経アジアアワード推薦受付のご案内



大賞賞金500万円

—— 受付締切: 2026年6月14日(日) ——



インドで女子学生のSTEM教育を支援する団体が第5回アワードを受賞

日経アジアアワードは、日本経済新聞社が主催する表彰プログラムです。アジア各地で生まれる多様な挑戦や創造的な取り組みを顕彰することで、地域と世界の未来を切り開く「アジア発のイノベーション」を称え、持続的な成長と社会課題の解決を後押ししています。

第5回の大賞には、インドで女子学生への理数系(STEM)教育を推進する非営利団体「ビギンシャーラ・インターナショナル」が選ばれました。同団体は、実験機器を備えた科学ラボの設置や、オンライン授業と対面支援を組み合わせた独自の教育モデルを展開し、教育機会が限られる農村部の女子生徒にも実践的な学びを届けています。ジェンダーや地域による教育格差の是正に寄与するとともに、将来のキャリア形成の可能性を広げ、アジアの持続的な発展にもつながるものとして高く評価されました。



2025年受賞者



世界を変える「アジア発」のイノベーションを支援

第6回日経アジアアワード候補者の推薦要項

応募方法	第6回日経アジアアワードの候補者推薦は、本アワードの公式ウェブサイトにて2026年6月14日(日)まで受け付けています。所定の推薦フォームより日本語または英語でご応募いただけます。なお、推薦は他薦のみで、自薦は認めていません。
応募資格	候補者は次の条件を満たしている必要があります。 <ul style="list-style-type: none">・推薦は他薦のみで、自薦は受け付けません。・アジア地域でスタートした、アジアを拠点とする活動をされている、アジア出身者または居住者 ※日本人の個人と日本人のみで構成される団体は除きます。 日経アジアアワードでは、以下の地域を「アジア」とします。 <ul style="list-style-type: none">・東アジア(朝鮮半島、中国など)・南西アジア(インド亜大陸の国々)・東南アジア(インドシナ、ASEAN加盟国など)・太平洋地域
審査基準	受賞者選考は、次の審査基準を満たす活動の総合評価となります。 <ul style="list-style-type: none">・新規性かつ革新性があること・地域の活性化や生活の向上など自由で豊かな経済社会づくりにつながること・活動や事業に継続性があり、今後の成長や拡大が見込まれること・社会的な影響力があり、グローバルな展開が期待できること
留意点	<ul style="list-style-type: none">・現役として活躍している方が対象です。・進行中の研究やプロジェクト等も対象となりますが、業績や成果の評価がある程度定まっている方をご推薦ください。・地道な活動を通じて人々の共感を呼ぶような実績をあげている方の発掘を歓迎します。 ※ノーベル賞や京都賞などの受賞者は避けてください。

審査のステップ



※上記スケジュールは予告なく変更されることがあります。

審査体制



御手洗 富士夫
キヤノン株式会社
代表取締役会長兼社長 CEO



兪明希(ユ・ミョンヒ)
元韓国通商交渉本部長



ソムギャット・
タンキットワニッチ
タイ開発研究所 所長



飯島 彰己
三井物産株式会社
顧問



春名 展生
東京外国語大学長



中尾 武彦
前アジア開発銀行(ADB)
総裁



ブラーマ・チェラニー
インド政策研究センター
名誉教授



北岡 伸一
国際協力機構(JICA)
特別顧問



ジュン・ヤン
南洋理工大学(NTU)
南洋ビジネス・スクール(NBS)
学長



木谷 哲夫
京都大学 産官学連携本部
IMS起業・教育部長
特定教授



ジョン・ピゴット
ニューサウスウェールズ大学
CEPAR ディレクター

